

# 2014年 新年のごあいさつ



四国中央市長  
篠原 実  
「あったかな  
四国中央市」  
に向けて

新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、新たな新春を迎え、心からお慶びを申し上げます。

さて、私も市長就任後、初めての新年でございます。

四国中央市も、あと少しで満10年となりますが、前市長井原巧参議院議員の9年間のご努力のおかげで、市政もようやく落ち着きを取り戻して参りました。今後の課題は、それはそれとして山積はしておりますが、通常の範囲での課題であると思っております。これからいよいよ、次のステップに入っていく準備が段々整って参りましたが、予期せぬハードルも多々あり、すべてが順調に推移しているわけではございません。

そのような中、今後の取り組みといたしまして、産業面では、産業ルネッサンスを自分の課題だと思つて、用途地域の見直しや、いりこ・サトイモ・鱒・お茶などの地域の特色ある地場産品のブランド化にも鋭意力を注いでいかなければならないと思っております。私たち行政マン（ウーマン）は、直接企業の内部に携わることができませんが、事業活動が少しでもやり易く、産

地間競争に負けないような環境づくり

に、全力を挙げて努力しなければなら

ないと、決意も新たにしているところ

でございます。

また文化面におきましては、課題を

克服して、市民文化ホールの一刻も早

い着工を目指し、英知を結集しなけれ

ばなりません。文化祭、公民館祭やそ

れぞれの分野での発表会、四国中央ふ

れあい大学のタイムリーな人選など関

係機関としっかりとした連携を取りな

がら、より市民生活の中に文化が根付

いていくよう配慮が必要であると思っ

ております。

また、学校の耐震化率も大きく向上して参りましたが、今後も市内の児童・生徒が安心して学べる校舎づくりに関係部署と鋭意協議を重ねて参ります。

以上、常に不断の行政改革に取り組みながら、市民の方へ目を向けた姿勢を貫き、あったかな四国中央市を目指して、一歩前への心意気で今年一年頑張りますので、市民各位のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、市民の皆さま方にとりまして、本年がより良き年でありますよう心よりご祈念を申し上げます、新年のご挨拶といたします。



四国中央市議会議長  
山本 照男  
「市民福祉の向上」  
を目指して

新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた初春をお迎

えのことと心からお慶び申し上げ

ます。旧年中は、市議会に對

しまして温かいご理解とご協

力を賜り厚くお礼申し上げます。

顧みますと昨年もいろいろな

出来事がありました。富士山・

三保の松原の世界遺産登録に次

ぐ和食の無形文化遺産登録や

2020年開催の東京五輪招致

決定など、経済効果が期待でき

る明るいニュースのほか、原発

汚染水問題、伊豆大島の台風被害など、深刻な問題も相次ぎ、不安な一年でもありました。

また、政治経済面におきましても、アベノミクス効果による株価の上昇や参議院議員選挙でのねじれ解消、消費税率の引き上げなど、さまざまにニュースで話題を欠かない一年でありました。消費税増税による経済への影響は依然として不透明な部分もありますが、地方においては国が推進する行政の効率化、

簡素化を徹底し、積極的かつ弾力的な経済対策に取り組んでいくことが急務であると考えております。

こうした中、市議会では市の意思決定を行う議決機関として、市民福祉の向上を目指し、

一昨年より議会改革に取り組んで参りました。昨年は委員会

で参りました。昨年は委員会

で参りました。昨年は委員会

で参りました。昨年は委員会

で参りました。昨年は委員会

で参りました。昨年は委員会

で参りました。昨年は委員会

で参りました。昨年は委員会

で参りました。昨年は委員会

で参りました。昨年は委員会

で参りました。昨年は委員会